



平成11年12月27日
日本原子力発電株式会社

東海発電所 燃料取替機の燃料案内管の不具合について

当社、東海発電所（炭酸ガス冷却型、電気出力16万6千キロワット、平成10年3月31日営業運転終了、現在燃料取出し中）は、平成11年12月24日の燃料取出し操作において、燃料つかみ具の停止位置及びスタンドパイプ蓋の着座位置が、通常より高めであることがわかりました。

このため、当日の燃料取出しに使用した燃料案内管を点検したところ、本日14時05分頃、当該案内管の先端部についている「位置決めノーズ」が外れていることを確認しました。

原因については、現在調査中です。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

（通商産業省による INES の暫定評価尺度）

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0—	0—

スタンドパイプ：原子炉と燃料取替機との連絡管

位置決めノーズ：案内管先端部の位置決めを行う部品

以上